



- 米系“インターネット系企業”の雄が北朝鮮勢への接近を“喧伝”し始めた感あり。「情報」と「経済」をキーワードとした米朝関係の転換に要注視  
(パラメーター番号：パラメーター22)  
(重要度：★★★★)
- 米系“インターネット系企業”の雄であるグーグル社のエリック・シュミット会長が近々、北朝鮮勢を訪問することを企図しているとの情報あり。具体的には、米國務省サイドは「米國勢にとって有益ではない」とのコメントを出している由：  
(参考：<http://sankei.jp.msn.com/world/news/130104/amr13010408560002-n1.htm>)
- ポイントは、今次金融メルトダウンがもたらす世界史の刷新により、最も裨益する諸國勢の一つが北朝鮮勢である可能性が濃厚であるという点。北朝鮮勢もそのことを十分認識しつつ、行動している可能性が高いことをまずは想起すべき。
- この文脈で重要なのは、北朝鮮勢はグーグル社に対して研修ミッションを既に出していた経緯があるという点。とりわけ米軍においては「情報と経済」を切り口に北朝鮮勢への浸透を図るべしとの声が昨年(2012年)秋より高まって来ていた点がカギ。あり得べき春先のショックの後、北朝鮮勢がその地位を格段に国際社会の中で向上させる可能性が益々高まっていることを念頭に置きつつ、引き続き事態の推移を注視すべき展開。
  
- アルゼンチン勢が英国勢との間で「フォークランド(マルヴィナス)諸島」問題に関する協議を提案したとの情報あり。来る2月末の“デフォルト”ショックがカギ  
(パラメーター番号：パラメーター37)  
(重要度：★★★★)
- 去る2日(ブエノスアイレス時間)、アルゼンチン勢のキルチュネル大統領が記者団との会見に応じたとの情報あり。具体的には、英国勢との間で懸案となっているフォークランド(マルヴィナス)諸島に関し、領有権に関する協議の実施を提案する旨述べた由：  
(参考：<http://www.buenosairesherald.com/article/120752/cfk-urges-cameron-to-open-malvinas-islands-sovereignty-talks>)
- ポイントは、米歐勢が今次金融メルトダウンを通じて画策しているのが事態の收拾ではなく、混乱の継続と拡大を通じた世界史の刷新である可能性が濃厚である点。そのために究極において用いられるのがアルゼンチン勢の“デフォルト(国家債務不履行)”リスクであることをまずは想起すべき。
- この文脈で重要なのは、来る2月27日(米東部時間)に再開される米國勢の裁判所における公判の結果如何では、去る2002年に“デフォルト(国家債務不履行)”となったアルゼンチン國債を巡る紛争が再燃する可能性が高い点。このことを見越して、キルチュネル大統領は国内の引き締めを図るべく、対外的な脅威を“演出”し始めている可能性大。結果としてアルゼンチン勢から資本の逃避(キャピタル・フライト)が生じた場合、米國勢とイタリア勢に飛び火し得ることを念頭に置きつつ、引き続き事態の推移を注視すべき展開。
  
- 第2次安倍晋三政権によって取りまとめられている今年度(2012年度)補正予算案の概要がリークされる展開。来る2月末から3月にかけての“ショック”がカギ  
(パラメーター番号：パラメーター73)  
(重要度：★★★)
- 第2次安倍晋三政権の成立に伴い、財務省がとりまとめて今年度(2012年度)補正予算案の重点項目がリークされ始めたとの情報あり。具体的には、「電柱地中化」や「全国防災事業」、そして「EV導入促進」等が柱として掲げられている由：  
(参考：<http://www.asahi.com/politics/update/1230/TKY201212290717.html>)
- ポイントは「環境保全」を名目としつつ公共工事を大規模に行い、同時に「次世代自動車」を理由に自動車セクターへのテコ入れを行うといった抜本的な措置を第2次安倍晋三政権が講じ始めている点。マーケットの“猛者”たちの間ではこうした第2次安倍晋三政権の「決意」ある政策態度が



【編集】

(株) 原田武夫国際戦略情報研究所 (<http://www.haradatakeo.com>)

※本レポートの無断転載および購読契約者以外への無断転送は固くお断り  
します。

※本レポートは、特定の金融商品の売買を推奨するものではありません。

金融商品の売買は購読者ご自身の責任に基づいて慎重に行ってください。弊研究所  
は購読者が行った金融商品の売買についていかなる責任も負うものではありません。

【お問い合わせ先（発行・停止もこちらから）】

(株) 原田武夫国際戦略情報研究所 調査部

TEL 042-537-7750 FAX 042-537-7751

e-mail: [info@haradatakeo.com](mailto:info@haradatakeo.com)